

水辺のごみ見つけ！2018 実施方法（実施マニュアル）

1. 事前準備

- ・大量のごみの回収が見込まれる場合は、その処理方法について事前に自治体にご相談ください。（多くの自治体の場合、ボランティアが回収したごみについては、自治体の協力をいただくことができます）
- ・大勢で調査実施する場合、記録しながら回収する場合など、必要に応じて、「記録用紙」をホームページから入手（以下のサイトからダウンロード）してください。

<http://kawagomi.jp/mikke/>

ホームページから入手できない場合は、下記連絡先にお問合せください。

人数に応じて必要部数をご用意ください。（各人1枚または数名で1枚記載できるように）

2. 当日

- ・水辺で、調査項目のごみをそれぞれ別の袋に入れて回収し、最後にまとめて数えて記録してください。
※大量にごみがある場合は、汚れたごみを最後に数えるのは大変なので、数えながらごみ袋に入れていくことを推奨します。その際には、数名で1枚の「水辺のごみ見つけ！記録用紙」を用意し、拾いながら順次記録します。
- ・調査の範囲は任意ですが、調査した水辺の長さをご報告ください（奥行は報告不要）。
- ・回収したごみは、自治体のルールに従い、各団体で適切に処理願います。
- ・回収しないでカウントする場合には、複数人で重複して数えないようご注意ください。

活動後に、調査参加の皆さんと、
「何でこのごみがあるの？」
「このごみを無くすにはどうすれば良いの？」
などを話し合ってみましょう！

水辺のごみ見つけ！記録用紙 ~水辺での調査の際にご利用ください~
~全国水辺のごみ調査~

調査した団体(または個人)名 _____
調査年月日(yy/mm/dd) _____ 回収したごみの種類(複数可)
グループの人数 _____ 人

<自由に区別を置いてカウントしてください>

種類	数量
飲料ペットボトル	正
レジ袋	
カップ類 飲料容器 (即断捨棄容器含む)	

その他、特に多かったごみ、臭いになったごみ、どこから来たごみと思われるごみ、臭いごみを記入ください。

調査地点(範囲)について
河川・湖沼・海岸名 (例:〇川) _____ (水辺) _____
都道府県名 _____
市町村名 _____
地点(範囲)名 (例:〇橋周辺など) _____
調査範囲(水辺の長さ(m)) _____ m
水辺の状況
調査範囲の地図(記載自由) 1.自然護岸 / 2.コンクリート護岸 / 3.砂浜 / 4.その他

発行:全国川ごみネットワーク 2018年3月

3. 実施後 報告

- ・「水辺のごみ見つけ！記録用紙」複数枚で調査した場合は、グループで集計してください。
- ・「水辺のごみ見つけ！報告シート」にグループでの集計結果を記載し、事務局まで、メールで報告ください。できるだけ、エクセルシートのまま添付願います。
調査範囲略図を記載いただいた場合は、別途PDFにして添付願います。
活動の写真を別途添付願います（任意）。HPなどで紹介させていただきます。
調査後、月末までに報告願います。（最終締切：11月30日） 報告先アドレス：kawa53@kawagomi.jp

■その他、注意事項

- ・水辺での調査ですので、無理をしないで、毒ヘビやスズメバチなど危険な生き物、足元などに注意しながら調査してください。
- ・水面・水中での活動以外の場合は、水の中には入らないようご注意ください。
- ・水面・水中で活動する場合は、必ずライフジャケットを着用し、安全に配慮ください。
- ・本調査として、事務局でボランティア保険等の傷害保険に加入していません。

水辺のごみは、放置され堆積すると、水辺の動植物の生育を阻害します。
水辺で拾われずに外洋に流れ出たごみは、ウミガメ、水鳥など海の生き物へ悪影響を及ぼします。
紫外線や水流などで破片化したプラスチックごみは、有害な汚染物質を吸着したり、生き物にも取り込まれています。やがては人への影響が生じるのではないかと懸念されています。